2021年度(2020年度実施) 日本大学文理学部体育学科 入試等 Q&A 集

目次

総合型選抜(旧:AO 入試)	2
【エントリーにあたって】	2
【エントリーについて】	2
【エントリーシートの作成について】	3
【活動証明書・スポーツ活動証明書について】	3
【出願書類について】	3
【第2次選考について】	3
【その他】	4
一般選抜(旧:一般入試)	5
【A 個別方式(A 方式)】	5
【N 全学統一方式(N 方式)】	5
【C 共通テスト利用方式(C 方式)】	5
学生生活	6

総合型選抜(旧:A0入試)

【エントリーにあたって】

- ▶ Q:総合型選抜は、文理学部体育学科とスポーツ科学部競技スポーツ学科の併願はできますか。 A:文理学部体育学科の出願要件①に「体育学科を"第一志望"とする者」と明記されています。 スポーツ科学部の出願要件(1)にも同様に明記されていますので、第一志望とする学部学科の み出願して下さい。
- ▶ Q:第1期と第2期は何が違うのでしょうか。

A:体育学科アドミッションポリシーは同じですが、「<u>募集要項4の出願要件③a・b</u>」が異なります。それぞれの募集要項を確認の上、出願して下さい。出願する際には自身の競技成績や学業成績等を振り返った上で、エントリーシート等を記入して下さい。

A:第2次選考の日程が異なります。

第1期は10月10日(土)に選考を行います。

第2期は10月17日(土)に選考を行います。

▶ Q:第1期と第2期は併願できますか。

A:併願可能です。しかし、「<u>募集要項4の出願要件③a・b</u>」が異なりますので、それぞれの募集 要項を確認の上で出願して下さい。

【エントリーについて】

▶ Q:総合型選抜説明会に参加する必要はありますか。

A: <u>必要ありません。</u>体育学科では、総合型選抜説明会を設けておりません。(他学科では、エントリーに際して総合型選抜説明会への参加が求められる学科もありますので、注意して下さい。ただし、今年度に関してはコロナウィルスの感染拡大の影響から募集要項が変更されている可能性がありますので各学科の最新情報を確認して下さい。) エントリーに関わる書類は、以下のURL または文理学部 HP よりダウンロードし、作成及びエントリーをして下さい。

文理学部 IP: https://www.chs.nihon-u.ac.jp/admission/sogo/

▶ Q:体育・スポーツ活動に関して、現役生と既卒または高卒認定合格者では、競技歴や競技水準で違いがあると思います。その点は考慮して頂けるのですか?

A: 第1期、第2期「<u>募集要項4の出願要件②</u>」にも記載があるように、現役生の方は、現在所属している高校もしくは中等教育学校後期課程中の成績で出願します。一方、既卒または高卒認定合格者の方は、<u>出願手続き最終日(9月24日(木)</u>を起算日とした過去3年以内の成績で出願します。

【エントリーシートの作成について】

▶ Q:競技成績が複数あり、どの成績が高い評価になるか知りたいです。

A:第1期、第2期「<u>募集要項4の出願要件③a・b</u>」を参照し、出願する際にはご自身の競技成績、学業成績などを振り返った上で、エントリーシート等を記入して下さい。選考については出願書類から総合的に判断します。エントリーや出願に当たって、競技成績の基準は特に設けておりませんので、ご自身が<u>最もアピールしたい成績</u>を前面に押し出した内容で書類を作成して下さい。

【活動証明書・スポーツ活動証明書について】

- ▶ Q:競技大会への出場や結果を証明するものがない(パンフレット誤記載、メンバー表がない場合、ホームページ未記載等)場合は、どのようにしたら良いですか。
 - A:エントリーシート1枚目下部の承認者名で証明書を作成し、提出して下さい。
 - また、証明書等の確認のため、こちらからエントリー承認者に連絡する場合があります。
- ▶ Q:新型コロナウィルスの影響で出場予定であった全国大会が中止となりました。この場合、何か 配慮してもらえますか。
 - A:新型コロナウィルスの影響により中止となった大会については、出場予定であったことを証明するエントリー表や大会プログラム等を提出することで、大会出場とみなします。

【出願書類について】

➤ Q:出身学校調査書について、学校が 2 学期制のため、出願時までに 3 年時の成績表を用意する ことができない場合にはどうしたらいいですか。

A:出願時に提出できる<u>最新の成績表</u>を提出して下さい。最新の成績表が 2 年後期終了時の学業 成績の場合には問題ありません。

【第2次選考について】

- ▶ Q:第2次選考のプレゼンテーションの方法は何ですか。
 - A:【第1期】「<u>募集要項5入試日程及び選考方法⑤第2次選考試験</u>」に記載の通り、適性試験(当日課題による口述試問)を行います。
 - A:【第2期】「<u>募集要項5入試日程及び選考方法⑤第2次選考試験</u>」に記載の通り、プレゼンテーション及び口述試問を行います。こちらでパソコン等の準備は致しません。面接官に渡す資料があれば、A4サイズ用紙で4部準備し、持参して下さい。また、当日、A0機器は使用できませんが、黒板等にプレゼンテーション資料を貼付することは可能です。
- ▶ Q:第2次選考の面接時間は何分ですか。
 - A: 第1期は、適性試験(当日課題による口述試問)と面接で 20 分程度です。
 - A:第2期は、プレゼンテーション及び口述試問と面接で20分程度です。

【その他】

- ▶ Q:第2期で入学した場合、必ず運動部に入部しなくてはなりませんか。
 - A:競技スポーツ部の推薦入試ではありませんので、必ずしも運動部 (競技スポーツ部もしくはサークル活動) に入部する必要はありません。合格後に競技スポーツ部への入部を希望される場合は、各自で希望される競技スポーツ部へお問い合わせ下さい。
- ▶ Q:競技スポーツ部の推薦がきているが、総合型選抜での入学を考えています。
 - A:体育学科としては、総合型選抜を受験しても問題ありません。ただし、<u>総合型選抜は選考試験ですので、合否判定に関して競技スポーツ部の推薦は一切関係ありません。</u>

一般選抜 (旧:一般入試)

※一般選抜実施スケジュール(日本大学入試ガイドより参照)

http://www.nihon-u.ac.jp/admission_info/uploads/files/20200701113502.pdf

【A 個別方式(以下、A 方式)】

- ▶ Q:合格最低点は何点ですか。
 - A: 昨年度(2020年度)第1期の合格最低点は166.5点(300点満点,実質倍率2.9倍)、第2期の合格最低点は196.7(300点満点,実質倍率6.8倍)でした。
- > Q:文理学部の他学科との併願は可能ですか。
 - A:<u>併願可能です。</u>今年度(2021 年度)から、文理学部内の 2 学科以上の併願数に上限がなくなりましたので、幅広い学科を受験することが可能となりました。
- ▶ Q:第1期と第2期の違いはありますか。
 - A:募集定員や試験日、受験教科科目が違います。第1期の募集定員は65名、第2期は2名です。 受験教科科目については、第2期では公民の選択科目で「倫理」が選択できなくなります。

【N 全学統一方式(以下、N 方式)】

- Q:A 方式の併願と N 方式は何が違うのですか。
- A:A 方式の併願は文理学部内の幅広い学科を受験可能(出願可能)です。N 方式は、日本大学内の複数の学部学科を受験可能(出願可能)です。
- A:A 方式と N 方式第1期において、同一学科を同時出願した場合、N 方式第1期の入学検定料が0円になります(A 方式の入学検定料は、35,000円)。
- ▶ Q:第1期と第2期の違いはありますか。
 - A:試験全体としては試験日と試験会場の数、実施学部の数が違います。
 - 第1期は2月1日(月)に全国20会場で行われ、ほぼ全ての学部学科を受験可能です。
 - 第 2 期は <u>3 月 4 日(木)</u>に東京と湘南の 2 会場で行われ、7 学部のほとんどの学科を受験可能です。
 - A:体育学科としては募集定員が違います。
 - 第1期は3名、第2期は2名を定員としています。

【C共通テスト利用方式(以下、C方式)】

- ▶ Q:選択科目を指定科目数以上受験したのですが、どの教科が使用されますか。
 - A: <u>最も高得点の科目を使用します。</u>ただし、「地歴・公民」、「理科(基礎を付していない科目)」を合否判定に使用する場合で 2 科目受験した場合は、それぞれの第 1 解答科目のみを合否判定に使用します。

学生生活

※下記のデータは過去数年分のデータを基に作成しておりますので、あくまでも参考値として お考え下さい。

- ▶ Q:どのくらいの学生がアルバイトしていますか。 A:統計データをとってはおりませんが、競技スポーツ部に所属している学生を除いて、大半の学生はアルバイトをしている印象です。
- ▶ Q: 入学後は、必ず何らかの部活動やサークル等に所属しなければいけないのでしょうか。 A:そのような規定はありません。無所属の学生もいますし、外部のクラブチームや社会人サーク ル等で活躍している学生、クラブでコーチをしている学生等様々です。
- ▶ Q:野外実習(各1単位)について、必ず履修しなければいけないのでしょうか。 A:4 つの野外実習(オーシャンスポーツ、アイススポーツ、スノースポーツ、キャンプ)のうち、 卒業するためには最低1単位の修得が必要となります。また、複数の野外実習の履修も可能ですので、2年次にオーシャンスポーツを履修し、3年次にキャンプを履修することも可能です。
- ▶ Q:野外実習にかかる費用はいくらぐらいですか。

A:実習によって宿泊数や使用する施設や物品が異なるため、<u>それぞれの実習で費用が異なり</u>ますが参考までに昨年度の実習費用を提示します。

(例:昨年度の実習費用)

オーシャンスポーツ (2 泊 3 日):22,000 円 アイススポーツ (2 泊 3 日):33,500 円、

スノースポーツ (3 泊 4 日):35,000 円 キャンプ (3 泊 4 日):22,000 円

▶ Q:自分で時間割を作成するのは難しいでしょうか。

A:時間割作成は、大学生なら必ず行う作業です。学期始めのガイダンス等でも説明しますが、それでも難しい場合や、分からない点があった場合は体育学研究室で相談を受け付けます。

時間割作成例:1年生

前期

時限/時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1 時限	スポーツ					
(9:00~10:30)	バイオメカニクス		スポーツ運動学	体育学概論		
2 時限				教育の方法・技		
(10:40~12:10)	法学		現代教職論	術論		
3 時限			自主創造			
(13:00~14:30)	憲法		の基礎1	倫理学	教育学	
4 時限						
(14:40~16:10)	英語 3		生理学	英語1	情報リテラシー	
5 時限		健康・スポーツ				
(16:20~17:50)		教育論			保健学概論	

- …卒業必修科目
- …体育学科専門科目
- …教職科目
- …総合教育科目
- ≪一般的な時間割作成の流れ≫
- ① 必修科目は必ず履修し、体育学科専門科目もクラスや学年指定の時限に履修します。
- ② 教職コース等を履修する場合、上記の科目を避けて履修します。
- ③ ①・②の科目を組んだ上で履修可能な時限に総合教育科目等を履修します。
- ▶ Q:単位の修得は難しいのでしょうか。

A:科目ごとに到達目標があり、シラバスにて授業計画や採点方法が明確に説明されています。毎回授業に出席し、分からないところは教員に聞く等、主体的に学んでいればそのようなことはありません。生理学や解剖学等の理学系科目もありますが、それらの科目は体育学を学ぶうえで重要な科目であり、先輩方も修得してきた授業なので、主体的に学んでいきましょう。

▶ Q:4年間で卒業できますか。

A:過去5年間の平均で、95%以上の体育学科の学生が4年間で卒業しています。4年間で卒業していない学生の内、自身の意志で留学をした学生等も含みます。卒業率としては比較的高いと言えます。